



Y M I R L I N K

業界

IT SERVICE

カスタマープロフィール

1999年にソフトウェアの受託開発事業者として創業。現在は独自開発のMTA (Message Transfer Agent) をベースとした大規模メール配信システムと、SMS配信/アンケートシステムなどを含めたクラウドサービス「Cuenote」シリーズを展開。読者の多いメールマガジンなども高速かつ確実に配信でき、1時間あたり1,000万通/1か月あたり44億通という配信実績を誇る。

すべてのPCを、すぐに、簡単に保護できるCarbon Blackで テレワーク中のPCのセキュリティを大幅に強化し 社内組織による迅速なインシデント対応を実現

メッセージングソリューション「Cuenote」シリーズを展開するユミルリンクは、働き方改革/テレワーク時代に適したPCのセキュリティ強化を検討し、「VMware Carbon Black」に注目しました。統合されたEPPとEDRの強力な機能で、専門家だけでなくとも簡単にすばやく最新の脅威とインシデントに対応できるようになりました。クラウドサービスであるため社外ネットワークもカバーでき、テレワーク中のPCも確実に監視・保護できるようになりました。

ソリューション

エンドポイント保護ソリューションとしてVMware Carbon Blackを導入。テレワークで社外に分散したPCも確実に保護することができ、また管理者が在宅勤務中であっても対応できるようになった。ライセンスコスト/学習を含む導入コスト/運用コストのいずれも安価で負担が小さく、たった数か月で選定から本格運用までを実現した。インシデント発生から調査・レポートまでの時間も、半日から3時間まで削減できると試算している。

導入前の課題

テレワークの
セキュリティ対策に
不安

訓練しても防げない
高度な
標的型メール攻撃

インシデント対応の
機能・体制が
不足



導入効果



社内外のPCを
場所によらず保護でき、
リモート管理も容易に



EPP & EDRで
最新の脅威も
確実に検知



状況を直感的に把握でき、
多彩な機能で容易に
分析可能

「Carbon Blackは、すぐに、すべてのPCを、簡単かつ低コストで保護できます。セキュリティの専門家だけでなくとも容易に扱えるため、ごく短時間でインシデントに対応できるようになるソリューションです」

ユミルリンク株式会社
カスタマー本部ゼネラルマネージャー
取締役
高比良実氏

導入環境

- VMware Carbon Black

すべてのPCを、すぐに、簡単に保護できるCarbon Blackで
テレワーク中のPCのセキュリティを大幅に強化し
社内組織による迅速なインシデント対応を実現

【課題】

大規模な会員サービスもカバー 高速・確実なメール配信システム「Cuenote FC」

ユミルリンクは、1999年にソフトウェア開発事業者として設立されました。現在は、長年にわたって培ってきたソフトウェア技術と独自開発のメール配信エンジン(MTA)をベースとしたクラウド型メッセージングソリューション「Cuenote」シリーズを提供しています。

中核となる「Cuenote FC」は、大規模なメールメッセージ/メールマガジンを配信するサービスで、大量のメールを確実・高速に一斉配信することが可能です。アクティブユーザーは1,800契約を超え、1か月に44億通ものメッセージを処理しています。独自の高速処理によって1時間あたり1,000万通も配信した実績を残しており、豊富な機能を簡単に利用できることから、多数の企業のメールマーケティングやカスタマーサポートなどに役立てられています。同技術を応用したメールリレーサーバー「Cuenote SR-S」を活用すれば、既存のメール配信システムを変更することなく、配信能力を大幅に向上することも可能です。

メール配信以外にも、簡単に回答フォームを作成できるアンケートシステム「Cuenote Survey」、携帯電話・スマートフォンのショートメッセージを活用できるSMS配信サービス「Cuenote SMS」、社内スタッフ向けの「安否確認サービス」なども展開しています。

「私たちは、クラウドサービスの企画から開発、運用、販売までを、すべて自社内で行っています。そのため機能強化やトラブル対応などが迅速で、個々のニーズにもきめ細やかに対応できると自負しています。高速・確実で安全であること、機能の豊富さや柔軟性なども好評価で、数千万人クラスの大規模会員サービスなどにもご活用いただいております」と、ユミルリンクの取締役でカスタマー本部ゼネラルマネージャーを務める高比良氏は述べています。



ユミルリンク株式会社
カスタマー本部ゼネラルマネージャー
取締役
高比良 氏

【ソリューション】

サービスの安全性を高めるために 業務環境のセキュリティを強化

メールによるマーケティングやサポートは、エンドユーザーの情報を活用して実現されるため、安全性は特に重要な要素です。サービスそのもののセキュリティはもちろん、従業員の業務システムのセキュリティにも注力してきました。しかし近年は、サイバー犯罪やビジネス・業務を取り巻く環境の変化が激しく、さらなるセキュリティ強化が求められていました。

「侵入されることを前提とすると、旧式の対策や技術では攻撃に気づくことができません。そうして対応が長時間化すると、何が起きたのかを把握することがさらに困難になります。当社では標的型メール攻撃の訓練も行っていますが、あまりに巧妙なものだとメールのプロフェッショナルたる私たちすら気づくことができないケースもあるのです」と、高比良氏は対策の難しさを指摘します。

実際に攻撃を受けたときに、ログ収集から分析・調査まで行う体制を運営することは困難であること、情報を保全して正確な対応を図るためのシステムが不足していることなど、強化すべき課題が残されていたといいます。

ユミルリンクでは、以前から部分的にテレワークを導入してきましたが、在宅勤務におけるセキュリティ対策に不安があり、従来型のEPP(Endpoint Protection Platform)だけでなく、より効果的なEDR(Endpoint Detection and Response)を組み合わせたことが急務だと考えていました。

【今後の展望】

テレワーク中のPCもリモートで監視・保護し 高速なインシデント対応が可能に

そうした検討の中で出会ったのが「VMware Carbon Black」です。もともとユミルリンクは、VMwareテクノロジーを広範にわたって活用しており、クラウドサービスの基盤としても導入していました。

「VMware Carbon Blackは、EDRとEPPの両方が統合されており、社外ネットワークを含めてすべてのPCを確実に保護できると感じました。情報がシンプルに集約されており、グラフィカルな画面で状況を把握できるため、専門家でなくとも直感的に運用できます。アクセス制御など、カスタマイズ性に富んでいるのもポイントです」(高比良氏)

高比良氏らの行動は早く、Carbon Blackを試してから数か月で本格

的な運用に至っています。管理サーバーが構築不要でサポート資料が充実しており学習が容易なこと、配布ツールを用いたサイレントインストールに対応しており従業員や管理者の負担が小さかったこと、ライセンス費用を含めたコストメリットなどを選定時のポイントとして挙げています。

Carbon Blackを導入したことによって、「できなかったことができるようになった」と高比良氏は評価します。例えば、テレワーク環境の端末からログを収集して、クラウド上で保管・分析できるようになりました。PowerShell等のスクリプトなど、メモリ上で稼働するような最新の脅威も検知できます。なんらかの脅威を検知した場合はボタン1つで該当の端末を隔離し、ハッシュ一括検査で拡散状況を把握して、すばやくインシデント対応を行えます。

「従来は、脅威を検知できてもケーブルを抜くなど物理対応が必要で、検知・隔離作業に1時間は取られていました。Carbon Blackなら1分もかからず拡散を防止できます。ログ収集だけでも数時間はかかっていたものが、クラウドに格納された情報を用いてすぐに調査し、強

力な機能ですばやく診断と対応を実施できます。ステークホルダーやセキュリティベンダーへの報告は、以前なら半日はかかるところでしたが、たった3時間で対応可能と試算しています」(高比良氏)

現在のところユミルリンクでは、Windowsデバイスを中心にCarbon Blackを適用していますが、今後は既存のVMware基盤/クラウド環境への展開を計画しています。また、PC環境のデータ保全など、Carbon Blackで保護できない領域もVMwareソリューションを全面的に活用してカバーしていくことも視野に入れています。

ユミルリンクでは、Cuenoteシリーズを中核としたメッセージングソリューション/サービスをいっそう強化していきたいと考えています。そのためには、より重要なデータを扱ったり、顧客から預かったりすることもありえます。Carbon Blackやその他のVMwareテクノロジーを応用してセキュリティ対策の強化を継続し、「より安全で使いやすい強力なサービスを創出していきたい」と高比良氏は述べています。今後も多くの企業のマーケティングやカスタマーサポートを、ユミルリンクとVMwareが支えていくことでしょう。

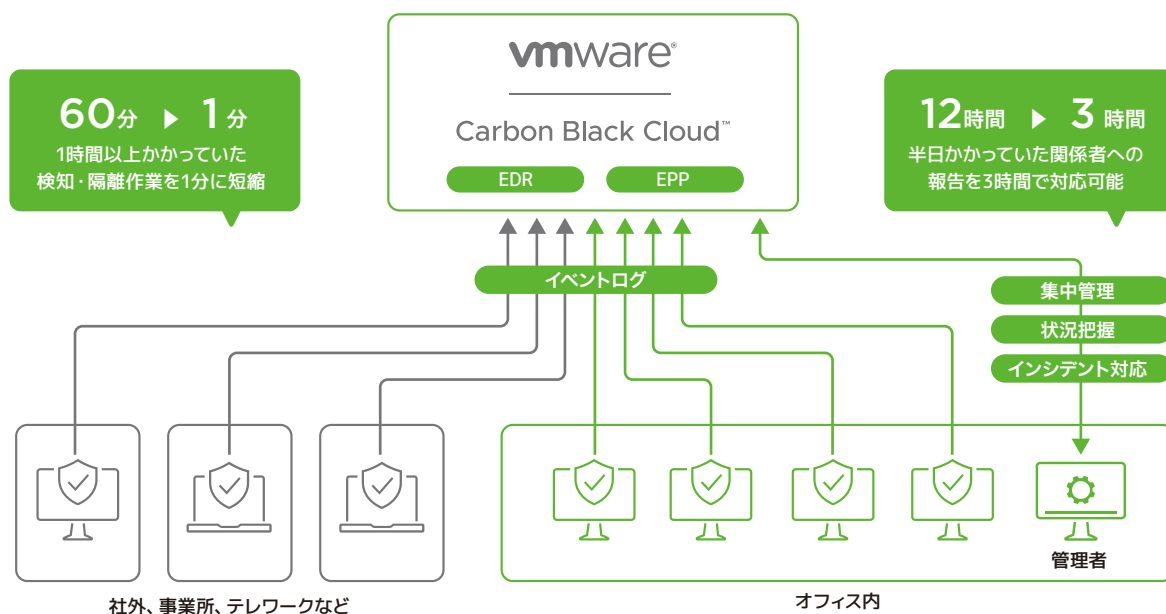


図: VMware Carbon Black による強力かつ効率的なエンドポイント保護

すべてのPCを、すぐに、簡単に保護できるCarbon Blackで
テレワーク中のPCのセキュリティを大幅に強化し
社内組織による迅速なインシデント対応を実現

